

山寺通信 6月号

いよいよ暑い季節を迎えます。水分補給には水物が中心になります。体感気温により選択する飲料は変わります。また嗜好品の好みや年代により水物に対しての感覚の違いがあります。フィルターインボトルで水出し茶が普及してきましたが、お茶を水で淹れることを知ってもらうためには、道具を提案しそして味や本物の清涼感を感じてもらふことが必要になります。専門店は、その名の通り商品が絞られますので重点的に試飲等の方法で宣伝ができます。さらに夏は、屋内だったものが屋外へも広げることができます。「フレッシュな本物を味わえる」「茶葉を使えば経済的である」「健康面でも混じりなしの飲み物」等々いくつかのメリットを伝えることでお客を説得できます。そしてお茶に注目させる道具は、新しい効果も持っています。「お茶の味」「レシピ」「道具の特徴」「使い方」これらの説明が必要であり、尚且つ「ガラス製品の取り扱い」「重い」等のデメリットの説明が消費者に安心感を与えます。新しい需要を喚起するためにその方法論をお店の立地や客層、新規に取り入れる客に対しての宣伝を作り出すことです。



T7-06 ¥3300 極細籠網 350cc



T7-07 ¥3300 (160 メッシュ)



T7-8 ¥6000 120/H90mm



T7-9 ¥3000 T7-10 ¥3000 90/H95mm



T7-11 87/H60mm

T7-12 135/H90mm



T7-13 85/H95mm

T7-11 ¥3500 T7-12 ¥8000 T7-13 ¥1400



BCPOT-1 ¥2500 ~~¥800~~ 500cc 胴開茶漉しコップ 6 杯分

網は胴開けですが、大きな茶葉なら十分つかえます。



T7-14 ¥2200 85/H80mm きゃりーていーぼとる



今年の夏は、屋内屋外で活躍する CT ボトル

中国製 大型茶壺 宜興製 15 年位前の製品ですので美味しくお茶が飲めます。

日本茶なら焙じ茶、茎茶、番茶に使えます。